

なかつがわ

市の花 サラサドウダン



令和6年12月定例会



たなか ゆうき
オリンピック 田中 雄己 選手

中津川警察署

一日警察署長



中津商業高等学校
バトントワーリング部



中津高等学校吹奏楽部

年末の特別警戒出発式で激励



目次

議案	②
予算決算委員会報告	④
常任委員会先進都市行政視察報告	⑥
特別委員会報告	⑨
一般質問	⑩
緊急消防援助隊資機材の整備について	⑬
編集後記他	⑯

トピックス

- 中津川市議会ハラスメント防止条例を制定しました(3ページ)
- 刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書(3ページ)
- 市民と議会の対話集会を開催しました(14、15ページ)
- 常任委員会先進都市行政視察報告(6～8ページ)
- 「適正な議員定数と議員報酬について」勉強会を実施しました(16ページ)

「中津川市議会ハラスメント防止条例」を制定しました

この条例では議員による議員間および職員に対するハラスメントの防止および排除のために必要な事項を定め、市民から信頼される品格ある議会の実現に資することを目的とし、パワーハラスメント・セクシャルハラスメント・妊娠、出産、育児又は介護に関するハラスメント・相手の人格もしくは尊厳を害し、または精神的もしくは身体的な苦痛を与え、相手に不利益や意欲の低下をもたらすなど議会活動の環境を害するものを対象とするものです。

ハラスメント案件については、全国的な問題でもあり、中津川市議会ではハラスメント防止に努めていきます。

刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書（議員提出）（全会一致）

えん罪は、国家による最大の人権侵害の一つであり、人権国家を標榜する国にとってはもちろん、住民がえん罪被害者となり得る地方自治体にとっても、その防止や救済は重大な課題である。

えん罪被害者を救済するための制度としては再審があるが、その手続きを定めた法律(刑事訴訟法第四編「再審」)には、再審請求手続きの審理の在り方に関する規定がほとんどなく、裁判所の広範な裁量に委ねられている。このため、再審請求手続きの審理の進め方は、事件を担当する裁判所によって異なっており、再審請求手続きの審理の適正さが制度的に担保されず、公平性も損なわれている。

その中でも、証拠開示の問題は重要であり、捜査機関の手にある証拠を開示させる仕組みが必要不可欠である。現行法にはそのことを明文化した規定が存在せず、対応する裁判官や検察官によって、証拠開示の範囲に大きな差が生じており、この是正には、証拠開示のルールを定めた法律が制定されなければならない。

また、再審開始決定がなされても、検察官がこれに不服申し立てを行う事例が相次いでおり、えん罪被害者の速やかな救済が妨げられている。再審開始決定がなされたのであれば、裁判をやり直す決定だけでなく、速やかに再審公判に移行すべきである。

「袴田事件」で再審無罪判決が確定し、さらに「福井女子中学生殺害事件」で再審開始決定が確定したという事実があり、これらは現行法が有する欠陥の是正が急務であることを如実に示すものである。

よって、国においては、えん罪被害者を一刻も早く救済するため、刑事訴訟法の再審規定について、改正を速やかに行うよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和6年12月23日

中津川市議会

上記意見書は、次の宛先に送付しました。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣、内閣官房長官

12月定例会

議案の詳細につきましては、市ホームページをご覧ください



	議案番号	件名	委員会審査		議決結果
			付託委員会	審査結果	
報告	報第10号	専決処分の承認を求めることについて	—	—	承認(全会一致)
条例	議第103号	中津川市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	総	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第104号	中津川市職員の給与に関する条例等の一部改正について	総	可決(賛成多数)	可決(賛成多数)
	議第105号	中津川市市営住宅条例及び中津川市市営単独住宅管理条例の一部改正について	産	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第106号	中津川市における高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置の基準に関する条例の一部改正について	産	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第107号	中津川市下水道条例の一部改正について	産	可決(全会一致)	可決(全会一致)
その他	議第108号	財産の取得について	産	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第109号	損害賠償の額の決定について	文	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第110号	字の区域の変更について	産	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第111号	指定管理者の指定について	文	可決(全会一致)	可決(全会一致)
補正予算	議第114号	財産の取得について	文	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第96号	令和6年度中津川市一般会計補正予算(第10号)	予	可決(賛成多数)	可決(賛成多数)
	議第97号	令和6年度中津川市国民健康保険事業会計補正予算(第2号)	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第98号	令和6年度中津川市介護保険事業会計補正予算(第2号)	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第99号	令和6年度中津川市後期高齢者医療事業会計補正予算(第1号)	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第100号	令和6年度中津川市水道事業会計補正予算(第2号)	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第101号	令和6年度中津川市下水道事業会計補正予算(第2号)	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)
議第102号	令和6年度中津川市病院事業会計補正予算(第1号)	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)	
議第113号	令和6年度中津川市一般会計補正予算(第11号)	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)	
請願	請願第3号	請願書「中津川市議会議員定数削減に関する請願」(令和6年第4回中津川市議会「定例会」継続審査事件)	議定	継続審査	—
委員会提出	議第112号	中津川市議会ハラスメント防止条例の制定について	—	—	可決(全会一致)
議員提出	議第115号	刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書について	—	—	可決(全会一致)

総：総務企画委員会 文：文教民生委員会 産：産業建設委員会 予：予算決算委員会 議定：議員定数等特別委員会

賛否が分かれた議案の議決結果

議案	会派		中津川自民クラブ											公明	市民ク	共産	9	コ	ネ	無	議決結果				
	氏名	氏名	鷹見 憲三	勝 彰	岡崎 隆彦	吉村 浩平	吉村 俊廣	島崎 保人	島崎 孝志	長谷川 透	宮嶋 寿明	林 友義	小池 菜摘	田口 文数	糸魚川 伸一	榎松 直子	松崎 誠	木下 律子	田中 愛子	鷹見 信義		牛田 敬一	黒田 ところ	黒田 武嗣	
中津川市職員の給与に関する条例の一部改正について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
令和6年度中津川市一般会計補正予算(第10号)	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決

*公明：市議会公明党、市民ク：市民クラブ、共産：日本共産党、9：中津川9の会、コ：地域コネクト、ネ：市民ネット、無：無会派

予算決算委員会報告 (補正予算)

④基金積立のための事業 計 2,569万3千円

- ・財政調整基金管理事業……………20,103千円
- ・地域振興基金管理事業……………1,605千円
- ・リニア中央新幹線まちづくり基金管理事業……………2,589千円
他6件

⑤事業費等の精算 計 2,029万8千円

- ・国庫補助金を返還(消防施設建設事業)……………3,551千円
- ・国庫補助金を返還(公立保育所事業)……………2,563千円
- ・後期高齢者医療広域連合納付金【後期高齢者医療事業会計】……………13,675千円
他1件

⑥人件費の補正 計 2億466万8千円

- ・職員給与費(全会計分)……………36,249千円
- ・会計年度任用職員報酬等(全会計分)……………164,102千円
- ・議員期末手当……………958千円
他1件

■繰越明許費の補正……………一般会計 619,891千円

それぞれの事情により事業完了が翌年度となるため、やむを得ず繰り越して執行します。

- ・行政機能移転事業……………237,331千円
(水道分室改修工事について、アスベスト対策等が必要となり、想定より工期が必要となったため)
- ・財産管理事務事業……………67,360千円
(市庁舎の自家発電機更新について、機器調達に期間を要するため)
- ・ごみ処理事業……………99,000千円
(環境センターのごみ処理施設修繕について、施工に期間を要するため)
- ・リニア駅周辺土地地区画整理事業……………151,000千円
(中洗井線道路築造工事について、工事用地が確保できず工事の施工が遅延したため)
- ・橋りょう新設改良事業……………50,000千円
(上田第三橋橋梁補修工事について、神坂スマートインターチェンジ工事による県道の通行止めとの同時通行止めを避ける必要があり、工事着手時期をずらしたため)
他1件

■債務負担行為の補正……………一般会計<追加> 9,052千円

- ・戸籍住民基本台帳事業……………限度額 3,717千円
- ・障害者総合支援給付事業……………限度額 5,335千円
- ・道路橋りょう災害復旧事業……………限度額 265,000千円

予算決算委員会報告 (補正予算)

12月補正予算の概要

補正予算の詳細につきましては、市ホームページの12月補正【概要】をご覧ください。



- 12月補正予算……………6億4,654万9千円
- ・一般会計補正予算……………3億7,514万9千円
- ・国民健康保険事業会計(事業勘定)……………349万7千円
- ・国民健康保険事業会計(直営診療施設勘定)……………▲125万5千円
- ・介護保険事業会計……………123万6千円
- ・後期高齢者医療事業会計……………1,374万4千円
- ・水道事業会計……………▲805万3千円
- ・下水道事業会計……………▲539万1千円
- ・病院事業会計……………2億6,762万2千円

①国・県補助金等を活用しての事業実施 計 1,728万4千円

- ・樹種判読調査を実施(森林整備促進事業)……………8,582千円
- ・法人保育所等の一時預かり経費等を補助(法人保育所事業)……………7,337千円
他2件

②寄付金を財源としての備品購入等 計 2,185万円

- ・しあわせづくり基金へ積立(社会福祉総務事業)……………6,681千円
- ・教育基金へ積立(教育基金管理事業)……………13,550千円
- ・小学校、中学校の図書を購入(小・中学校教育充実事業)……………1,050千円
- ・こども園の備品を購入(公立保育所事業)……………569千円

③緊急対応が必要な事業 計 3億5,675万6千円

- ・市庁舎の自家発電機を更新(財産管理事務事業)……………67,360千円
- ・若者世帯の住宅取得に対する補助金予算を増額(中津川に住もうサポート事業)……………17,500千円
- ・環境センターのごみ処理施設を修繕(ごみ処理事業)……………99,000千円
- ・蛭川済美図書館の空調設備を更新(図書館総務事業)……………22,440千円
- ・中津川公園の指定管理料を増額(中津川公園管理運営事業)……………15,334千円
- ・損害賠償金【病院事業会計】……………99,377千円
- ・坂下98号線を復旧(道路橋りょう災害復旧事業)……………8,500千円
- ・予防接種健康被害給付金を支給(感染症予防事業)……………16,007千円
他5件

文教民生委員会 先進都市行政視察報告

◆山梨県甲州市

「誰でも気軽に集える図書館について」

10月15日

【目的】

地域の特産に特化した資料収集と展示、また、子どもたちの読書活動の取組について参考とするため視察しました。

【概要】

地域に密着し「ぶどう・ワイン」の資料を徹底して収集しています。毎年秋に「ぶどうとワインの資料展」を開催し、広く勝沼やワインを知ってもらうための発信がされていました。独自のスタイルで図書館運営がされています。

子どもの読書活動にアニメーションという手法を取り入れ成果を挙げ、公共図書館として初めてとなる「博報賞」を受賞していました。

【委員会のまとめ】

図書館が中心となって地域と連携し地域振興が図られており、学ぶところが多くありました。「ここだけ」の図書館運営がされており館長をはじめ職員の熱意が印象的でした。

◆東京都千代田区

「誰でも気軽に集える図書館について」

10月16日

【目的】

大都会の図書館でありながら地域との連携による図書館運営について参考とするため視察しました。

【概要】

複数の業者による指定管理で運営されており、専門性の高さが活かされていました。区内には多くの古書店や博物館・美術館があり地域との連携が図られています。地域も案内できるコンシェルジュを置き、千代田ゲートウェイとしての機能を持っています。

【委員会のまとめ】

業者による指定管理体制で専門性の高さ、大規模で人目をひく展示、コンシェルジュの存在など学ぶところがありました。

◆神奈川県大和市

「誰でも気軽に集える図書館について」

10月17日

【目的】

日本で一番多くの来館者のある図書館でその理由を参考とするため視察しました。

【概要】

ホールや子育て機能の入った図書館を根幹とした大規模な複合型施設で、年間およそ300万人の方が利用しています。複数の指定管理業者により運営され、競争原理が活かされています。フロア毎で多彩な構成をされており、細部にわたって利用者寄り添った配慮がなされています。高齢者等の居場所づくり、健康づくりも考えられていました。

【委員会のまとめ】

大規模図書館でありながら細部にいたるまで配慮がなされ、その根拠や理由が明確にあり、利用者寄り添った考え方が参考となりました。

総務企画委員会 先進都市行政視察報告

◆兵庫県豊岡市

「消防職員及び消防団員の確保対策事業について」

10月7日

【目的】

中津川市の消防職員及び消防団員の確保対策の参考にするために、先進都市へ視察を行いました。

【概要】

女性向け消防職業説明会を実施しており、施設見学や放水訓練、救急機材の取り扱いなどの体験会を行い、女性職員の採用に積極的に取り組んでいます。また、消防団では、準中型自動車免許の取得、オートマチック限定自動車免許を解除するための講習及び受験に要した費用の全額補助を行っています。

【委員会のまとめ】

消防団員の確保は、若者の減少及び本業に加えての消防活動が影響し、大変厳しい状況にあります。団員の処遇が良くなるように検討する必要があると考えます。

◆京都府京丹後市

「消防指令業務の共同運用について」

10月8日

【目的】

中津川市の消防指令センターの共同運用(令和8年度より東濃5市にて運用開始予定)の参考にするために、先進都市へ視察を行いました。

【概要】

共同運用する(6消防本部)消防指令システムの費用は、単独運用した平成26年の金額と比較すると約45%の費用削減となり、令和7年度から発生するランニングコストは約20%の費用削減となる見込みです。また、有効・効率的な活動と安全を確保するため、限られた人員で最大限の活動を行えるよう指揮隊運用、救急車への救急救命士の搭乗率100%を基本に人員配置を行っています。

【委員会のまとめ】

早期に救急救命士の搭乗率100%を目指し、救急救命士の確保及び養成の進捗を早めることを検討する必要があると考えます。

◆京都府向日市

「消防団のガバナンス強化事業について」

10月9日

【目的】

中津川市消防団のガバナンス強化の参考にするために、先進都市へ視察を行いました。

【概要】

サイレンの整備費用の削減や、人口密集地であるためサイレンの音が市民の負担になることからアプリを導入しました。災害場所及び水利の把握が即時に行えるようになり、行事案内や各通知がアプリで行え、スケジュールの共有などのメリットがあります。しかし、団員1人あたり月額300円の費用負担となり、音が鳴らない、通知が来ないなどの不具合が一部あるようです。

【委員会のまとめ】

アプリの導入につきましては費用対効果を考え検討する必要があると考えます。

特別委員会報告

◆議会改革特別委員会

11月12日

全国的にハラスメント事例が多く発生しており、当議会においても、そのような案件が発生しないように、中津川市議会ハラスメント防止条例並びに中津川市議会ハラスメント防止条例施行規程を策定しました。12月本会議に上程され審議されました。

ハラスメントにはパワーハラスメント・セクシュアルハラスメント・妊娠、出産、育児介護に関するハラスメント・精神的、身体的に苦痛を与えるなどのハラスメントがあります。特に近年ではSNSを活用したハラスメントが増加しています。自分の思いを発するのは自由かもしれませんが、他の方に悪影響があるのはハラスメントにつながる恐れがあります。発言する責任も考えていきたいと思えます。まずは、当市においてこのような案件が発生しないよう努めてまいります。

◆リニア中央新幹線対策特別委員会「中間報告」

10月11日

○第17回 濃飛横断道・三市一村議会合同会議について 10月11日に下呂市で開催

三市一村(下呂市・郡上市・中津川市・東白川村)でリニア効果を活かすため濃飛横断自動車道の早期整備促進と連携強化を図ることを目的とし、合同会議を当番市である下呂市で開催しました。

要望書の内容、要望実施方法、令和6年度事業計画、次期当番市(郡上市)の確認をしました。また講演として、JR東海(株)中央新幹線岐阜東工事事務所所長、岐阜県リニア推進事務所所長、国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所副所長、岐阜県岐阜土木事務所所長から関連各事業について説明を受けました。

○中津川市議会・南木曾町議会 リニア特別委員会合同会議について 11月1日に中津川市で開催

11月1日

両市町特別委員会の活動状況の報告を確認し、リニア中央新幹線事業および関連事業について各担当部局から説明を受けました。会議終了後(仮称)神坂スマートインターチェンジの現地視察を行いました。

◆議員定数等特別委員会「中間報告」

10月31日、11月19日、12月12日

○3回にわたる委員会にて、請願第3号請願書「中津川市議会議員定数削減に関する請願」について議員定数等特別委員会で審査を行いました。

10月31日に行われた委員会では、各会派より検討した事項の発表がありました。

さらに自由討議を行いました。
次に平成24年議員定数特別委員会の経緯を事務局より説明、今後の調査研究の方法は、有識者の話を聞く。そして、十分に議論を尽くした上で、議員定数についての結論を出していくことを確認しました。
市民の意見聴取の方法、費用弁償については意見が割れておりました。

11月19日に行われた委員会では、全委員より前回出された内容について伺った意見をもとに自由討議を行いました。

前回から追加の主なご意見は、「定数は削減の方向ですが、慎重に。少しは削減すべきである。議員報酬は東濃5市の中でも低いので上げるべき。」というものでした。

有識者の意見をいただくことについて勉強会を実施することとしました。
勉強会は全議員を対象とし、12月24日行うこと、講師は廣瀬行政研究所に依頼することを確認しました。

今後のスケジュールは、近隣市では瑞浪市が定数の削減をしておりますので、参考にすることとしました。

市民の意見を広く聴取した上で議論を深めたいため、令和7年1月号広報なかつがわで周知することを決定しました。

12月12日に行われた委員会では、令和7年1月号広報なかつがわ掲載する記事の内容確認を行いました。

続いて、12月24日勉強会の内容を「適正な議員定数と議員報酬の考え方」とすることを確認しました。

請願に対しては「継続審査が適当である」という意見があり、全会一致で継続審査とする結果となりました。

産業建設委員会 先進都市行政視察報告

◆静岡県三島市

『地域の人事部構想に関する取組について』

10月22日

【目的】

経済産業省のモデル事業として行っている「地域の人事部」への取組について視察を行いました。

【概要】

三島市においては、事務局を「三島信用金庫」に置き取組を行っていました。専門的なノウハウを持つ複合人材と地元企業との接点づくりができ、複合人材は雇用ではなく業務委託することにより、専門人材による支援を低コストで受けることができ、社員や経営者の自走化を促すようになりました。

【委員会のまとめ】

こうした事業で、事務局を市役所ではなく「信用金庫」において民間企業のための活動を行っていることが良かったと思えました。

◆茨城県日立市

『地域の人事部構想に関する取組について』

10月23日

【目的】

経済産業省のモデル事業として行っている「地域の人事部」への取組について視察を行いました。

【概要】

日立市では「日立地区産業支援センター」に事務局を置いて取組を行っています。複合マッチングにより中小企業が「課題解決型の人材マッチング」にチャレンジしたことで、人材確保に向けた新たな切り口を他の企業にも提供できるようになりました。また、当センターにおいても事業として兼業・複合人材マッチングを実施したことは初めての経験であり、コーディネーターにおいてもノウハウを学ぶ良い機会になりました。

【委員会のまとめ】

日立製作所という大きな企業がある日立市だからできる豊富な退職人材の活用ができることも再確認しました。

◆茨城県常陸太田市

『地域の人事部構想に関する取組について』

10月24日

【目的】

経済産業省のモデル事業として行っている「地域の人事部」への取組について視察を行いました。

【概要】

常陸太田市では「常陸太田市商工会」が事務局となり、常陸太田市、関東経済産業局と連携し、地域の人材課題に向け取り組んでいました。地域の人事部で実施している取組は、企業が抱える経営課題解決のための手段提供であり、取組の成果としては「支援機関の企業支援能力の向上」や「企業支援事例の蓄積・共有」、「経営者の意識改革」等を目指しています。

【委員会のまとめ】

この事業に取り組み始めてまだ2年ですので目立った人材確保には至っていないようですが、取組への努力や事務局を民間に置いての活動など当市にとって参考になる視察でした。

一般質問 ここが知りたい!

一般質問は、議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め、または質問することです。今回は9人の議員が行いました。その中から主な質問と答弁の要旨を紹介します。

質問等の詳細につきましては、市議会ホームページの「映像配信」または「会議録」をご覧ください。

映像配信はこちらから→  会議録はこちらから→ 



(商工観光部長)

リニアを活かしたまちづくりについて

宮嶋 寿明

問 「第25回清流めぐり利き鮎(なま)で華格蘭プリを受賞した付知川の鮎の活用について。
①今回の受賞は、地域経済の活性化と魅力向上に繋がったかと思えますが如何お考えか伺います。
②今回の受賞は、観光誘客に繋がる戦略をつくるきっかけになったと考えます。実現するためには、付知川の管理者である恵那漁業協同組合との協力体制が必要だと思えますが如何お考えか伺います。

答 ①地域経済の活性化のために、生産、加工、販売などを整えて維持していく必要があると考えられますが、付知川の鮎は、魅力ある地域資源となり得るので、関係者で大切に育てるべきものと考えます。
②付知川の鮎を活用した観光誘客促進には、恵那漁業協同組合との連携は有効であると考えます。同組合の独自の取り組みは、新たな体験コンテンツとなる可能性もあるため、どのような取組ができるか検討します。

ごみの減量・収集の現状と取り組みについて

松崎 誠

問 ごみの減量は、ゼロカーボンの取組として住民の身近な取組の一つです。恵那市との広域ごみ処理施設整備の計画もあり、処理能力が1トンで1億円とも言われる焼却炉の建設費抑制にも繋がると考えます。
①令和4年施行の「プラスチック新法」により、更なる減量が必要と考えます。分別の見直しが必要と考えます。分別の見直しが必要と見解を伺います。
②自治会に加入せず、地域の集積所が利用できない世帯の対応を伺います。

答 ①更なる減量には、ごみの細かな分別と再資源、再利用が必要で、恵那市と協議を進める新ごみ処理施設建設ではプラスチックの資源循環が交付金の必須要件であり、また分別によるごみの減量は処理能力の規模にも関わることから、順次協議を進めていきます。
②未加入の方より相談の際は、環境センターへ直接搬入していただくよう案内していますが、状況に応じて地域と相談し、地域の集積所を利用するよう勧めています。

(環境水道部長)
(施設整備担当部長)



がん対策について

糸魚川 伸一

問 ①若い世代ではがんに罹患する割合が女性です。出産・育児等と重なることも多いと思えます。がん患者の出産・育児等について支援体制があれは伺います。
②若い世代では在宅療養を希望するものの支援する制度が整っていません。切れ目のない支援が提供されるべきだと考えます。終末期の若い世代に対して福祉用具の貸与等、必要とされる支援について助成を行うべきと考えます。見解を伺います。

答 ①出産・育児等の支援については子ども家庭センターを中心に支援を行っています。がん療養の方についても治療を行っています。がん療養門相談窓口と連携をとり支援します。
②国の「第4期がん対策推進基本計画」において小児・AYA世代の療養環境の実態把握と体制整備が挙げられています。小児・AYA世代への療養支援は大切だと考えており、今後国の動向を注視していきます。

(市民福祉部長)



「中津川市医療需要検証プロジェクト」チームの検証の進捗状況について

木下 律子

問 9月議会で「なぜ設置が必要か」の質問に「安心して暮らせる中津川に向けた施策を進めること」が大切であり、現在ある医療政策にかかると課題の課題解決に向け、庁内のそれぞれの立場から改めて医療需要を検証する必要があると考え設置したと答弁された。
①どのような取組を行ってきましたか。
②検証の検証はどの段階まで進ましたか。
③今後のスケジュールについて伺います。

答 ①主に病院事業部がこれまで検討を進めてきた内容の根拠となる各種データを基に、財政や診療所の状況等の視点を加えた議論や、医療関係者・医療機関からのご意見について考察するなど、それぞれの内容の整理を行ってまいります。
②プロジェクトチームは、坂下診療所民営化の是非を検証することを目的としていたものではなく、中津川市全体の医療提供体制については引き続き検証してまいります。

(市長公室長)



災害時の高齢者・障がい者など災害弱者の福祉避難所について

鷹見 信義

問 ①要支援者名簿と個別計画は出来ていますか。
②避難行動要支援者が参加した避難訓練は市内で行われているか伺います。
③避難対応資材の備蓄はどのようにされ全体でどれだけ確保されているか伺います。

答 ①要支援者名簿は作成済みであり、毎年3月と9月に更新しています。個別避難計画については、現在、作成に取り組んでいます。
②令和5年度中津川市総合防災訓練では避難行動要支援者の安否確認や地域独自の名簿作成等、要支援者対策を目的とした訓練が22自主防災会で取り組まれています。
③プロテクター、毛毯、簡易ベッドやトイレ、小型発電機、主食等を備蓄しています。また、必要に応じて協定先からの調達を想定しています。主食は約2万3000食分、携帯トイレが約2500回分、簡易トイレは175基を備蓄しています。災害に対する備えとして、各家庭において最低3日分、できれば1週間分の備蓄をお願いしています。

(総務部長)





問 今、共働き家庭が多く、土・日祝祭日でもサービス業に従事されていたり、「年収の壁」の引き上げにより、勤務時間の長時間化も考えられます。放課後に限らず子どもたちの居場所の必要性がますます高まっています。

①学童保育所についてはどうですか。

②児童館についてはどうですか。

共働き家庭の増加や社会構造の変化、少子化の進展や家庭における子育ての孤立化等により、全ての子どもが安全で安心して過ごせる居場所づくりは、重点的に取り組むべき施策と考えています。

①学童保育については、喫緊の課題として地域のニーズに沿った拡充への取組を進めているところです。

②児童館は、子どもの居場所の一つであり、放課後だけでなく、夏休みなどの長期休暇中の居場所としても、子どもたちが自由に遊び、過ごせるよう取組を進めています。

(市民福祉部長)

小栗市長が就任後10ヶ月を経過、この間の取組とこれからについて

黒田 七 ころ



問 学力が、経済格差・地域格差によって影響を受けると言われる中、中津川市が各中学校で無償の学習支援をしていることは素晴らしいことです。

①令和6年度に実施した学校を教えてください。

②学習支援の対象となる生徒を教えてください。

③この取組を継続拡充していくために必要なことは何ですか。

①本年度の夏休みにおける市内12中学校の実施状況についてお答えします。全ての中学校で学習支援を実施しました。

②全員を対象にしている学校、希望者を対象にしている学校、生活面や学習面で支援が必要なのに絞って声掛けをしている学校等、学習支援の対象となる生徒は各校ごと異なります。

③教職員の思いを各校に聞く中で、「負担感はあるが子供の喜ぶ顔が見られてうれしい」との声が多数あり、ありがたく思っています。地域人材や教員を目指す学生等の参画を促し、人の環境をさらに整えることが、この取組の継続、拡充につながると考えます。

(教育委員会事務局長)

学習支援について

田中 愛子

緊急消防援助隊の資機材が整備されます

緊急消防援助隊は、大規模災害が発生した際に消防庁長官の要請により被災地へ出動し、各種消防活動を実施します。今年1月の能登半島地震と9月の能登半島豪雨災害に、延べ7日34名が出動し、重機を活用した行方不明者の捜索活動等を実施されました。

12月定例会の補正予算に胴長靴等の装備購入費、重機のクローラーゴムパッド等の修繕費、根切りチェーンソー等の新たな備品費が総額4,406千円計上され、予算委員会で審議・可決されました。



胴長靴



クローラーゴムパッド

「適正な議員定数について」市民アンケートを実施しました

中津川市議会では、「議員定数等特別委員会」において、望ましい議員定数等に関する調査研究を行っています。

広報なかつがわ1月号と市ホームページにおいて、令和6年12月23日(月)～令和7年1月31日(金)まで適正な議員定数についてのアンケートを実施しました。市民の皆さまのご意見も参考にしながら議員定数を考えてまいります。

観光の充実にについて

吉村 浩平

問 観光について市民、行政が一体となって意識改革をする必要があると考えます。観光は一度来た人がもう一度来たいと思わなければ成功とは言えません。観光はその地域の住民の心を映す鏡とも言われます。

①今が明確に市としての方向性を示す絶好のタイミングだと思しますので、予算をしっかりとつけて産業化へ向けての方向を期待するところですが、市長のお考えをお聞かせください。

答 先人達が残してくれた歴史・文化、自然、食などの「地域の魅力」を活かし、地域の観光の価値を高め、誘客促進を図ることに、観光産業の確立につなげていきたいと考えています。

中津川市の観光を持続的に発展させていくため、観光関係者などと連携して令和8年度、苗木城築城500年を始め、戦略的に事業を実施してまいります。

(市長)

中津川市総合計画について

牛田 敬一

問 ①中期事業実施計画の市民満足度をどう検証し評価したのか伺います。

②前期事業実施計画で医師確保が十分でない事について満足度はどうなっていますか。

答 ①平成25年度と令和4年度の市民意識調査比較により検証したところ、各施策の必要性和満足度の推移において、全体の平均では、必要性で0.07ポイント上昇、満足度で0.96ポイント上昇しています。

②必要性がほぼ横ばいであるのに対し、満足度は明確に上昇しており、満足度の上昇については、一定の評価ができるものと考えております。

②国保直診診療所では、これまで必要な医師を確保することができ、各診療所とも診療を継続することができております。これは、大学、岐阜県への医師派遣の要望によるものであります。今後も引き続き医師確保の取組が必要となります。

(政策推進部長
市民福祉部長)

市民と議会の対話

総務企画委員会

テーマ	消防活動の現状と課題について
日時	令和6年11月6日(水) 18時30分～20時30分
場所	苗木交流センター
対象者名	消防団13地区分団役員及び本部役員
参加人数	16名
概要	消防団員の減少による影響と対策についてのご意見をお聴きし意見交換を行いました。
一口コメント	若者の減少及び本業に加えての消防活動であり、様々な原因で消防団への加入が非常に厳しくなっている現状を切実な思いで話していただきました。団員の皆様の処遇改善などを提言に繋げていきたいと考えます。



▲対話集会の様子 (総務企画委員会)

文教民生委員会

テーマ	誰でも気軽に集える図書館について
日時	令和6年11月14日(木) 15時～17時
場所	ひと・まちテラス
対象者名	図書館関係ボランティア
参加人数	16名
概要	図書館の関係でボランティア活動をしている皆さまと、誰でも気軽に集える図書館について、それぞれの活動内容から課題等ご意見を伺いました。
一口コメント	ボランティア活動の視点からご意見をいただき、図書館の現状や課題を把握することができました。今後、委員会として課題を整理し提言(申し入れ)につなげていきます。



▲対話集会の様子 (文教民生委員会)

集会を開催しました

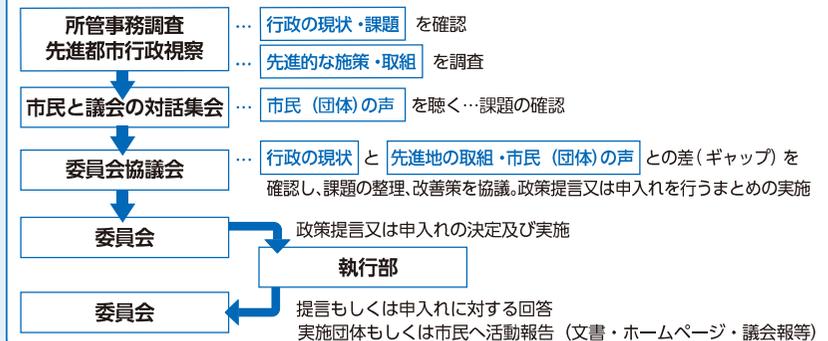
産業建設委員会

テーマ	市内企業の労働者不足の課題と対策について
日時	令和6年11月7日(木) 14時～16時
場所	苗木交流センター
対象者名	市内企業
参加人数	17名
概要	市内企業の代表者の皆さまから各企業の労働者不足について、現状や課題また取組や対策について伺いました。
一口コメント	普段はなかなか聞けないことを直接お聞きすることができました。また業種により差があることも再確認できました。



▲対話集会の様子 (産業建設委員会)

令和6年度 常任委員会の取組み



詳しい内容は、こちらから→



12月8日 第29回 消防団活性化事業 ブラスバンドフェスティバル



合同演奏

消防音楽隊 / 福岡分団エル・ジェ

中津高等学校吹奏楽部・中津商業高等学校吹奏楽部・中津川工業高等学校吹奏楽部



消防協会ラッパ隊



坂下高等学校ギターマンドリンクラブ

「適正な議員定数と議員報酬について」勉強会を実施しました

12月24日(火)に株式会社廣瀬行政研究所の廣瀬和彦氏を講師にお迎えし、「適正な議員定数と議員報酬について」、全議員を対象に勉強会を実施しました。議員は退職金・年金の支給がなく失業保険もありません。議員のなり手不足という課題もあります。

現在、議員定数等特別委員会において、議員定数や議員報酬について調査研究を行っています。この勉強会を参考に、議会の役割を十分に認識し、若い世代の人にも関心を持っていただけるように議員定数、適正な報酬を検討していきます。



議会開催状況 10月4日～12月23日

本会議	(4回)
総務企画委員会	(1回)
文教民生委員会	(1回)
産業建設委員会	(1回)
予算決算委員会	(1回)
議会運営委員会	(5回)
リニア中央新幹線対策特別委員会	(2回)
議会改革特別委員会(協議会含む)	(2回)
全員協議会	(1回)
議員定数特別委員会	(3回)
議員連絡協議会	(1回)

令和7年3月定例会の日程

2月25日(火)	10時	本会議(初日)
3月6日(木)	10時	一般質問
3月10日(月)	10時	一般質問
3月12日(水)	10時	文教民生委員会
3月13日(木)	10時	産業建設委員会
3月14日(金)	10時	総務企画委員会
3月17日(月)	10時	予算決算委員会
3月18日(火)	10時	予算決算委員会
3月19日(水)	10時	予算決算委員会
3月21日(金)	10時	予算決算委員会
3月27日(木)	10時	本会議(最終日)

編集後記

今年は穏やかな年明けとなりました。この1年大災害等が起きないことを願うばかりです。一方、自然災害は待つてはくれません。昨年全国で起きた災害を教訓に、さらなる防災減災で、災害に強いまちづくりに向けて議論を進めたいと思います。

令和6年12月議会では、議会改革特別委員会提出議案の「中津川市議会ハラスメント防止条例」が制定されました。この過程においては、議員としての言動を見直す機会となりました。市民に開かれた議会を目指して、議会改革特別委員会では今後も様々な課題に取り組んでいきます。その取り組み等、市議会の状況をわかりやすく市民の方に伝える手段の一つとして、この「市議会だより」も頑張ってまいります。

市民の皆様のご意見等をお待ちしています。